

ユニオンリーダーへ新たな発信

APPROACH

あぷろうち

AUTUMN
2024.9
No.292

特集 連合群馬2024政策フォーラムを開催!

P2-3 群馬県の交通課題について

- P4 2024年県民意識調査結果報告
- P5 こんなこともやってます!連合群馬 シリーズ②
- P6 「2024TLU」を振り返る ～さらなる賃上げに向けて～
- P7 〈ご案内〉 芳野会長 特別講演会・ランチ味ーティング
- P8 声-voice22-・事務局長のひとりごと 第2回 ほか



「連合群馬 2024政策フォーラム」

特集

連合群馬2024
政策フォーラムを開催！

群馬県の交通課題について

連合群馬が群馬県民1万人を対象に実施した「2024年県民意識調査」(P4)によると、公共交通の利用実態は、「利用している人が48.3%で、そのうち「週3回以上利用する人」は5.9%といった実態が把握できました。

利用者の減少に代わってドライバー確保の問題など、公共交通の維持が危ぶまれるいま、交通弱者への支援をはじめ、地域の足をどのように確保していくかが大きな課題となっています。

そのような中、7月27日(土)に政策フォーラムを開催し、「群馬県の交通課題」について考えるべく、交通に関する有識者からの講演やシンポジウムを通じて、課題認識を深めました。



基調講演



シンポジウム

基調講演

《公共交通から生活交通へのシフト～どう守る地域の足～》 講師 関東運輸局 地域公共交通マイスター 佐羽 宏之 氏

シンポジウム

《～これからの群馬の公共交通のあり方について考える～》



シンポジスト
関東運輸局
地域公共交通マイスター
佐羽 宏之 氏



上毛電気鉄道株式会社
代表取締役社長
橋本 隆 氏



前橋市 未来創造部
交通政策課 課長
橋本 崇 氏



連合群馬 政策担当
副会長
青木 雄次 氏



群馬大学情報学部 教授
(連合群馬政策アドバイザー)
小竹 裕人 氏

コーディネーター

基調講演

「公共交通から生活交通へのシフト」

～どう守る地域の足～

講師 地域公共交通マイスター 佐羽氏

いま何が起きようとしているのか

これまで、私たちは「もっと早く、もっと沢山、もっと高価なものを」と「もっと、もっと」を求めてきた。その結果が、地球環境の汚染や破壊、様々な差別や貧困など「負の圧力」となって私たちのところに返ってきている。

また、日本国内の状況に目を向けると、少子・高齢化による人口減少社会がすでに訪れており、インフラの維持も困難になることが予想され、今まで当たり前に受けていたサービスを求めることが、不可能な時代が到来している。

いま求められる「ゆっくりズム」とは

そのような状況を乗り越えていくにはどうすれば良いのか。そこで考え出されたのが「ゆっくりズム」である。

「ゆっくりズム」とは、なんでも「のんびり、ゆっくりすること」ではなく、価値観を変えて、心に余裕をもって楽しく暮らせる、希望のあるまちづくりに取り組むことである。

「災害・戦争・経済的圧力」など、様々な外乱に襲われる可能性がある将来、その地域の資源を最大限活用して、それらの影響を受けない「幸せな地域づくり」をおこなうことが重要である。

(※1) DESIGN

文部科学省が令和2年度に募集した、新しい社会技術を用いて持続可能な地方都市モデルをつくる社会実験プログラム「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決」のこと。

(※2) 次世代モビリティ

MaaSと呼ばれるサービスのこと。目的の地までのルートや移動手段の検索、予約決済を一括して行えるもので住民や観光客の移動ニーズに対応し、より良い生活を実験するために開発されている。

(※3) グリーンスローモビリティ

国土交通省が認めた時速20km未満で公道を走る四人乗り以上の電動パブリックモビリティ(電動車)を利用した小さな移動サービスのこと。

(※4) ナローモビリティ

次世代モビリティの一つとして注目される電動の車幅が狭い(Narrow)小型車両。現在の車両は「四輪原動機付き自転車」に分類され一人乗りである。

(※5) ムービングチェア

シニアカーを改造して作られた乗り物。家の玄関まで迎えに来てくれて、運行する近くのグリーンスローモビリティの停留所まで送り届けてくれる自動運転の椅子をイメージして作られた。



コムス
出典:群馬大学理工学部大学院理工学HP



コムス
出典:レスポンスHP



グッディー
出典:GUDIHP



MAYU
出典:ゆっくりズム研究所HP

次世代モビリティ

「生活交通へのシフト」

これからの将来にむけて、

桐生市では2020年に、文部科学省のDESIGN(※1)という研究助成を受けて、群馬大学と桐生市、そして市民で取り組む「次世代モビリティ(※2)の導入による持続可能な地方都市モデルの構築」という社会実験がおこなわれた。この実験では桐生発祥のグリーンスローモビリティ(※3)「MAYU」や、ナローモビリティ(※4)「グッディー」、コムス、ムービングチェア(※5)を使って、「まちの中に切れ目のない交通網」をつくる提案をした。また、同じく2020年に、「MAYU」を象徴的存在として活用しながら、環境に優しいライフスタイルやスローライフを心がけるまちづくりを推進していくことで、持続可能な未来社会を実現していくため、桐生市と桐生市環境先進都市将来構想推進協議会で「ゆっくりズムのまち桐生」を共同宣言した。

シンポジウム

「これからの群馬の公共交通のあり方について考える」

それぞれの課題・取組について

【上毛電鉄 橋本社長】

地域の公共交通の維持のため、「群馬型上下分離方式」による路線の維持や、「プレミアム運転体験ツアー」などのイベントの開催、枕木やつり革オナー制度など、運賃だけでなく様々な施策を展開し、増収へ繋げている。

【前橋市交通政策課 橋本課長】

前橋駅と県庁の間を運行する複数のバス事業者に対して、運行時刻の調整役を担うとともに、「バスロケーションシステム」によるバスの運行状況の「見える化」を実施。また、コスト削減や、将来の運転手不足を見据え、公共バスの「自動運転化」に向けた試験実施をおこなっている。

【連合群馬 青木副会長】

どのような公共交通が乗りやすいか。利用者目線で考えることが重要であり、また、県北部や山間部の公共交通が衰退していく状況などを踏まえると、県内一律ではなく、「地域事情に合った公共交通のあり方」が重要である。



2024政策・制度要求と提言
知事への提言は9月17日(火)
を予定。



(昨年のような)

本年は5分野・9項目・20提言にまとめました。

こんなこともやっています！ 連合群馬 シリーズ②

連合群馬では、はたらく仲間のために活動することは当然ですが、実はそれ以外にもたくさんのことに取り組んでいます。実は“縁の下力持ち”のような活動もやっています。今回は、その一部を紹介します。皆さんは、いくつ知っていますか？



連合群馬の取り組みが、
社会を支えているんだね！

連携強化で社会に貢献

公職委員等の派遣

群馬県や労働局、その他関係団体の委員も連合群馬役員が労働者の代表を担っています。特に県の委員会では、県の計画やビジョンに対して労働者の声を反映させるために、非常に重要な役割を果たしています。



群馬働き方改革推進会議

パートナーシップ構築宣言

2023年8月には、パートナーシップ構築宣言の有効活用に向け、県内各団体と共同宣言を行いました。適正な価格転嫁、働き方改革の実現に向けて、産官労による連携を進めています。



「パートナーシップ構築宣言」宣言式

労働基準監督署との意見交換

県内に7箇所ある労働基準監督署との意見交換を行っています。地協役員と連合群馬エリアアドバイザー・組織アドバイザーが出席し、それぞれが受けた労働相談に関する課題や、県内の労災事故の情報について共有を行い、安全な職場環境づくりの一助とします。



経営者協会との連携

多くの県内企業を会員に持つ群馬県経営者協会とは、新年に「新春労使共同セミナー」を共同開催しています。定期的に情報共有の場も設け、安定的な労使関係の構築に向け連携をはかっています。



新春・労使共同セミナー

これら以外にも、群馬県や労働局など多くの審議会や、各事業団体にも委員を派遣しています。様々な社会課題の解決に向けて取り組んでいます。

はたらくのそばで、 ともに歩む

連合の統一スローガンとロゴです。連合は、これからも“はたらく”のそばに寄り添い続けます。



FacebookとInstagramとX
フォローしてね！



Facebook



Instagram



X

HP、SNSでは、連合群馬のとりくみを随時更新しています。

「2024年県民意識調査」結果報告

本年、9月17日に群馬県知事へ提出する「政策・制度要求と提言」。その内容の基礎となっているのが、毎年2月～3月の間にみなさんに協力をお願いしている「県民意識調査」です。県民意識調査はその時々の課題を幅広い職業・年齢層から県民一人ひとりのニーズを把握し、政策・制度として反映しています。

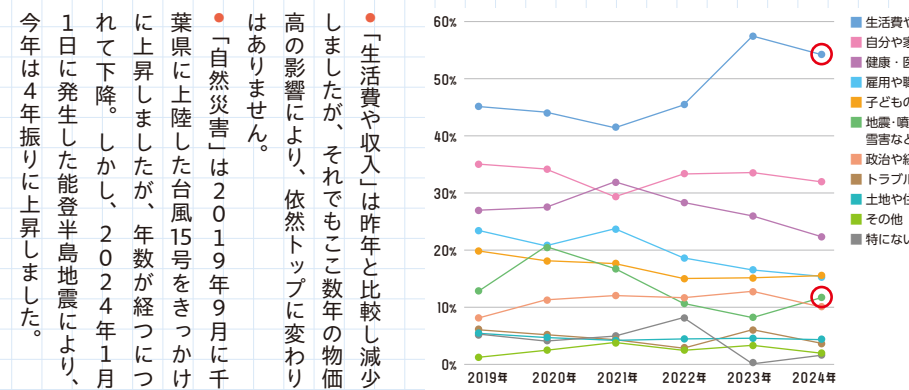
今回は、その県民意識調査から一部結果を抜粋し報告します！すべての結果については連合群馬HPもしくは、二次元コードを読み取りご確認ください。



【政策策定から実現までの取り組みイメージ】



県民意識調査
集計結果報告書
(連合群馬 HP)



Q2 あなたの心配ごと・困りごとは何ですか？「2つまで選択」

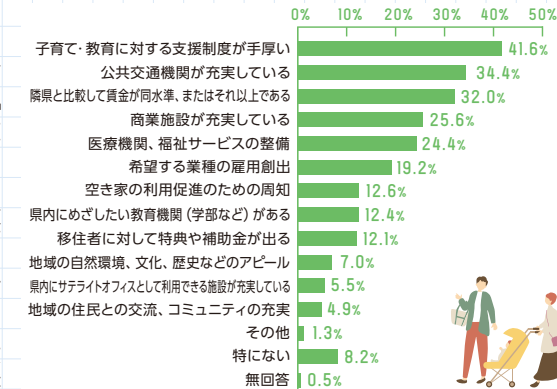
私たちの政策策定の基礎になるものとして、本年は10,517人から回答をいただきました。その結果から、特徴点・気になる3点をピックアップして紹介します。

県民意識調査結果

Q5 群馬県の総人口の減少に伴い、労働人口も年々減少傾向にあります。減少を少しでも食い止める群馬県に留まる、また移住者を増やすにはどのような施策が必要と考えますか。「3つまで選択」

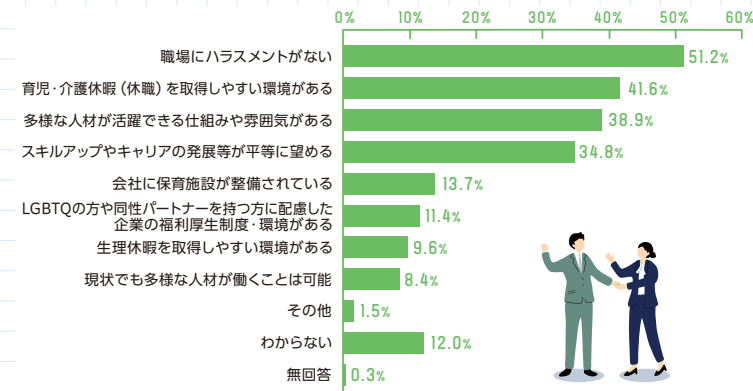
1位は「子育て・教育に対する支援制度が手厚い」
父になるなら流山市のキャッチコピーで有名な流山市は子育て支援に力を入れ、人口増加率で6年連続全国1位(2016年～2021年)であることから、子育て支援への手厚さは定住・移住者増加に向け、重要な施策と考えます。

●本年、連合群馬が開催した移住分野における政策学習会では、群馬県移住への課題として過度な車依存が挙げられています。2位が「公共交通機関が充実している」との結果から、車に頼らなくても困らない公共交通機関の整備も重要な要素です。



Q7 連合では、労働者の働きがいやワークライフバランスの向上、ジェンダー平等な社会を目指しています。あなたは、男女・年齢・国籍・自覚する性など多様な人材がともに働き続けたいと思える職場はどのような環境だと思いますか。「3つまで選択」

●調査結果から、「職場にハラスメントがない」ことが働き続けたいという声も多く、重要とわかりました。また、4位は「スキルアップやキャリアの発展等が平等に望める」となっています。日本の2024年「ジェンダーギャップ指数・経済参画」も146カ国中、120位となっていることから、男女格差が埋まっていない現状が改めて確認できました。



Q7 連合では、労働者の働きがいやワークライフバランスの向上、ジェンダー平等な社会を目指しています。あなたは、男女・年齢・国籍・自覚する性など多様な人材がともに働き続けたいと思える職場はどのような環境だと思いますか。「3つまで選択」



ユニオン掲示板

労働組合リーダーに知ってもらいたい！



【ご案内】 芳野会長 特別講演会

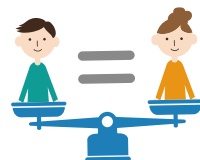


芳野 友子会長

日時 2024年10月26日(土)
15:00～17:00

場所 Gメッセ群馬・メインホール
高崎市岩押町12-24

※連合群馬年次大会と同日・同会場となります。



たくさんの方のご参加をお待ちしてます！

テーマ

「連合ビジョン」「ジェンダー平等」「組織拡大」を中心に労働組合が取り組むべき喫緊の課題についてお話頂きます。

連合群馬構成組織・単組との連携強化を進める好機とします。

- ◆所属の構成組織を通じて申込みをお願いします。
- ◆年次大会に参加しない方(講演会のみ参加)も大歓迎です。

芳野 友子会長 略歴

1988年10月	JUKI労働組合 中央執行委員
1999年 9月	JAM 中央執行委員
2001年10月	日本労働組合総連合会 中央執行委員
2010年10月	JUKI労働組合 中央執行委員長
2015年 8月	JAM 副会長
2015年10月	日本労働組合総連合会 副会長
2021年10月	日本労働組合総連合会 会長



鶏のからあげ定食 950円
ボリューム満点！とってもジューシー！

橙-DaiDai-

渋川市

今回のランチ味ティングは、反町渋川市議会議員(基幹労連/大同特殊鋼労組)に連れて行ってもらいました。

場所は渋川市役所すぐ北の閑静な街中にある「橙-DaiDai-」です。店内はとても綺麗&落ち着いた雰囲気です。カウンターや座敷もあり、お一人様でもグループでも入りやすいお店です。定食はどれもおすすめのことですが、私はランチメニューの一番上に書いてあった「鶏のからあげ定食」を注文。衣はサクサク、中はとってもジューシーでご飯が進む、ススム！セットのサラダや小鉢も、とっても美味しく、大満足の一品です。

反町市議は日替り定食のオムハヤシ定食を注文していましたが、卵はトロトロ、ハヤシソースは芳醇な香りでとっても美味しそうでした！

ランチタイムには地元の方や市役所の方もたくさん訪れ、大変にぎわっています。渋川市でランチをお探しの方は是非、お立ち寄りください！

SNSでも投稿していますのでぜひご覧ください。

住所●群馬県渋川市石原 143-6 TEL●0279-30-3022 営業時間●昼 11:30～14:00 夜 17:30～21:00
定休日●月曜日・火曜日

笑顔がとっても素敵な反町市議からの紹介でした♪

1991年以来の高水準に

連合は7月、「2024春闘」における最終的な回答結果を公表しました。賃上げに改めて取り組んだ2014年以降では最も高く、1991年以来となる定昇込み5%台の賃上げとなりました。

連合群馬における賃上げの交渉状況調査の結果は、6.40%となり、全国平均を超える結果となりました(下図)。ただし、データ提出単組が昨年よりも少なかったという点が、課題として残りました。

TLUのパッケージ化で機運醸成

今春闘、連合群馬では「トータルライフアップ(TLU・総合生活改善)」として、取り組みました。関係する取り組みを一体的に「パッケージ化」し、「春闘」を組合員だけでなく、市民・マスコミを含めて、よりわかりやすくアピールし、機運の

さらなる賃上げに向けて、
「2024TLU」を振り返る

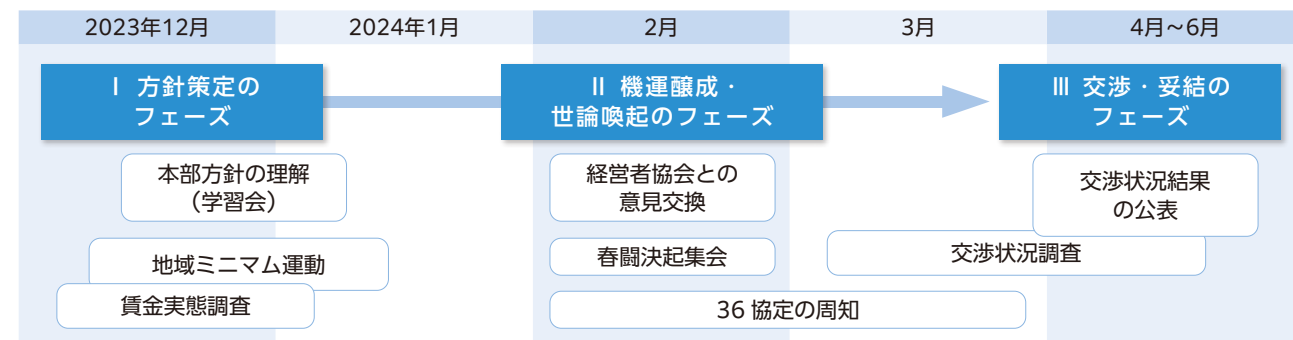


「春闘決起集会」(左)と「アピールウォーク」(中央)のようす。高崎駅前では、ベア(=ベースアップ)にかけて「クマ型スポンジ」を配布した。(右)

【賃金交渉状況調査 最終結果】

	個別 A 方式(定昇+ベアでの回答)				個別 B 方式(総額での回答)		
	組合	集計数 組合員	回答賃上げ計	うちベア分	組合	集計数 組合員	回答
2024年	24	36,347人	19,706円 6.40%	13,901円 4.51%	31	24,433人	16,294円 5.41%
2023年	54	136,939人	10,919円 3.58%	7,795円 2.56%	32	25,910人	9,691円 3.20%

【TLUパッケージ化のイメージ】





声 -voice 22-

みんなの声を政策に そして生活の安心・安定へ

連合群馬政策委員 原 竜二 (基幹労連群馬県本部 事務局長)



唐突ではありますが、皆さんの中には労働組合が政治(選挙)や政策に関わる活動を積極的に取り組むことに疑問を抱く方もいると思いますが、そんな方に連合群馬政策委員会や私の所属する基幹労連の活動を紹介しながら理解を深めてもらえればと思います。

連合群馬政策委員会では、多くの皆さんにご協力いただいた県民意識調査の調査結果を基に「多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない社会」いわゆるすべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現に向けて「政策・制度要求」を立案し、執行委員会の承認を得ながら知事や各市町村首長に対する提言に取り組んでいます。

また、ものづくり産業の組織で構成される基幹労連では、地方や国政の組織内議員をはじめ国政フォーラム議員と連携を取りながら、「資源・エネルギーに関する産業政策」から「自然災害に関する政策」まで6つの項目の実現に向けて取り組んでいます。

労働組合は、皆さんが働く企業と労使交渉や懇談の場を持ち「企業の経営チェックや春闘における賃金改善や福利厚生といった処遇改善」を図り、働く者の生活の安心・安定の担保に向け活動しています。

しかしながら、労使間では解決できない事、それは個人に係る各種税金・保険料や企業経営に係る産業課題であり、働く者の生活の安心・安定や可処分所得の向上につなげるには、ひとりでも多く政治の場に私たち働く者の代弁者を置き法令や制度を改善していく事も重要です。

皆さんの声を基軸とした政策・制度の実現に向け共に頑張りましょう。

磯田 事務局長の ひとりごと



第2回

労働組合役員を楽しんでいますか?(後編)

(前号からの続き)

イベントを実施した後は、組合員から好評の声をかけられて、多くの組合員とコミュニケーションが取れるようになって、少し言いづらいことも話せるようになったことを憶えています。そして、今でも活動を続けさせてもらっているのは、この時の経験があったからだ、勝手に思い込んでいます。

組織率が低下している、組織が弱くなってきている、さらには労働組合に加入するメリット論など、労働組合の存在意義が問われ

る今日、私たちが「頼りになる組織」であるためには、役員と組合員の信頼関係が築けていることが重要な要件であると感じています。

労働組合活動の大半は、決して楽しいものではないかもしれませんが、まずは組合員とのコミュニケーションづくりを「楽しく」進めていくことを考えていただきたい。

結果、組合員との信頼関係が築ければ、役員としてのやりがいを見い出せると思うし、組織が「明るく」なり、活性化・強化につながるができるだろうと思います。



編集後記

約20年使ったリビングのエアコンを新調しました。壊れてはいなかったのですが、ここ数年あまり冷えなかったのと、真夏にいきなり壊れても悲惨なので思い切って購入しました。某P社の製品ですが、あまりに進化していてビックリしました。スマホのアプリを使って外出先でも操作できるし、使った分の電気代もわかります。何より一番感動したのが、AIを使って快適な室温・風量に調整してくれるので、部屋のどこにいてもとっても快適!ここ数年で最高の買い物になりました。(ま)

2024パリオリンピック「総合馬術団体」で初老ジャパンが銅メダルに輝きました!!日本馬術92年振りのメダルで団体は初、あらためておめでとうございます。テレビ画面を通じてだけオリンピックで日本の選手を応援することが出来てうれしかった。中でも戸本選手は個人でも5位に入賞されて素晴らしい成績でした。表彰式は選手だけでなく馬も一緒に参加し、まさに人馬一体。感動モノでした。

乗馬は生涯スポーツと言われているので、いつかチャレンジしてみたいです。(い)



読者プレゼント

連合群馬加盟組織の方限定

3,000円図書カード1名様
オリジナルトートバッグを2名様に
プレゼントします!!

連合群馬の認知度を高める!クイズ

前回・6月号の答えは、「ユニオニオン」でした。たくさんの応募ありがとうございました。

さて、ここで問題です。連合群馬が入居する「群馬県勤労福祉センター」の所在地はどこでしょうか。市町村名でお答えください。このAPPROACHに掲載しています。よく見て応募してね!

ヒント 答えは最後のページに載ってるよ!

応募は
こちらから



応募の締め切りは2024年10月末日です。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

